

基本的な考え方	こころとからだ健康でいきいきと働き続けられるために、『自律的健康管理』ができるよう支援、活動を展開する。この活動を通して、企業価値向上に貢献することを目指す。 自律的健康管理とは、 私たち一人ひとりが自分の健康状態を把握し、信頼できる情報を正しく選び、判断し、活用する力を高めながら、主体的に生活習慣やこころとからだを整えていくこと
---------	--

健康投資（施策）	健康投資効果				健康経営の 推進方針	経営方針
	施策の取組状況	KPI	KGI	2030年度目標		
「取組みの関係性」 「具体的な取組み」 自分の健康を知る 健康関連調査の実施 回答率・各結果 測定会の実施 体組成・転倒リスク 等 実施率 セルフチェックの実施 睡眠・ストレス対応傾向・疲労 等 実施率 行動を選ぶ・判断する 教育・研修会の実施 実施率・理解度 ヘルスリテラシー・ストレス対応・階層別 等 健康に関する情報提供 運動・食事・睡眠・疲労 等 実施率 活用・実践する 体験型プログラムの実施 実施率・満足度 睡眠・運動・女性の健康 等 個別支援の実施 実施率 【活動基盤】 産業医・看護職・産業カウンセラー等の配置 健康保険組合との協働、健康管理支援システムの活用、社外分析機関の活用	自律的健康管理が できている ヘルスリテラシーの向上 ヘルスリテラシー尺度 3.8以上※1 健康的な生活習慣行動の増加 健康的な生活習慣行動 7つの実践数 5.0個以上 ストレス対応力の向上 6つのストレス・ヒートンゲのうち4つ以上ある人※2 70%以上	こころとからだ健康で いきいきと働き続けられる コンディションが整い、 本来の力を発揮している プレゼンティーズム A判定の継続 ※3 脳・心臓疾患リスクの低い 健康状態を維持している 脳・心臓疾患新規発症者割合 1.10%以下継続 レジリエンス力を 備えている 獲得的要因の平均3.37以上※4	「グループすべての働く人の健康が最重要」の考えの下 働く人と会社が一体となり、いきいきと楽しく働くことができる職場環境をつくり、こころとからだの健康づくりに取り組みます。 そして、すべての働く人が活力ある職場で躍動し、世の中に驚きと感動をもたらす成果を生み出し、より良い社会の実現を目指します。	ENGINEERED FUTURE 2035 の 実現		

※ 遵法実施項目は本マップには記載しない

※ 1：測定方法：CCHL
※ 2：測定方法：BSCP
※ 3：測定方法：Wfun
A判定とは問題なし50%以上かつ
中等度と重度20%以下かつ重度10%以下
※ 4：測定方法：二次元レジリエンス尺度